

箱根登山電車
Hakone Tozan Railway

富士山に一番近い鉄道
富士急行

大井川鐵道

こころまち つくろう
KEIHAN
叡山電車

NANKAI

Shintetsu

平成21年9月3日

箱根登山鐵道株式会社
富士急行株式会社
大井川鐵道株式会社
叡山電鐵株式会社
南海電氣鐵道株式会社
神戸電鐵株式会社

山岳路線を持つ東西の鐵道会社6社で

「全国登山鐵道‰ (パーミル) 会」を結成

共同で旅客誘致に取り組みます

9/5(土) 南海電鐵難波駅で共同PRを実施

箱根登山鐵道、富士急行、大井川鐵道、叡山電鐵、南海電氣鐵道、神戸電鐵の6社では、『観光地が沿線にあり、かつ登山鐵道としての性格を有している』という点で共通していることから、このたび勾配を示す単位である「‰」(パーミル)になぞらえ「全国登山鐵道‰ (パーミル) 会」を結成します。

各社は共同キャンペーンを実施することで、一体感を醸成するとともに、旅客誘致を図ります。

なお、9月4日(金)には、世界遺産・高野山(和歌山県)において、設立総会を実施するとともに、第1回目となるキャンペーンを9月5日(土)に南海電鐵難波駅(大阪市中央区)にて行い、6社が共同でチラシやパンフレットを配布し、それぞれの沿線への旅行を呼びかけます。

詳細は別紙のとおりです。

‰ (パーミル) とは

パーミルのパー(PER)は「~につき」を意味する接頭語、パーセント(%)のパーと同じ。セント(CENT)は百を意味するのでパーセントは百分率となる。

同様にミル(MIL)は千のことであり、パーミルは千分率のことであるが、鐵道では勾配の程度を示す単位に使われる。例えば40パーミルとは水平距離1000mに対し40mの垂直距離を持つ勾配のこと。



「全国登山鐵道‰ (パーミル) 会」ロゴマーク

[別 紙]

1. 会の名称

全国登山鉄道% (パーミル) 会

2. 構成会社および勾配区間

- ①箱根登山鉄道株式会社(本社：神奈川県小田原市、社長：和田 雅邦)
箱根湯本～強羅までの8.9 kmの間がほとんど急勾配で占められ、最急勾配は80%。
- ②富士急行株式会社(本社：山梨県富士吉田市、社長：堀内 光一郎)
大月～河口湖までの26.6 kmで約500 mの高低差を登り、最急勾配は40%
- ③大井川鐵道株式会社(本社：静岡県島田市、社長：伊藤 優)
千頭～井川までの25.5 kmの間の最急勾配が90%
- ④叡山電鉄株式会社(本社：京都市左京区、社長：森 俊行)
二軒茶屋～鞍馬までの4.7 kmの間の最急勾配が50%
- ⑤南海電気鐵道株式会社(本社：大阪府中央区、社長：亘 信二)
高野下～極楽橋までの10.3 kmの間の最急勾配が50%
- ⑥神戸電鉄株式会社(本社：神戸市兵庫区、社長：原田 兼治)
全線69.6 kmの8割以上が勾配で占められ、最急勾配が50%

3. 活動内容

- ①共同キャンペーンの実施やロゴマークなどの策定
- ②共通パンフレット、ポスターの作成

4. 第1回目のキャンペーンについて

- ①日 時：平成21年9月5日(土) 13時～15時
- ②場 所：南海電鉄難波駅 2階中央口 (大阪府中央区難波)
- ③内 容：加盟6社の社員が勢ぞろいし、%会共通のチラシやパンフレットを配布。
登山鉄道ならではの楽しさや沿線の魅力をPRします。

以上